



# カウニングだより

保育観察エッセイ③

**はったつがみえるよ!**

～ふんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー  
園村 和代

♪ 幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。  
毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

1学期の相談日は

4月22日(火)・5月20日(火)・6月24日(火)・7月15日(火)・8月26日(火)

の月一回火曜日です。どなたでも、お気軽にお越し下さい。

子育て支援室「ふんかベビーカフェ」は、6月3日(火)スタート！毎週火曜日開放しています。

乳児の子育て中のお母さん、予約は必要ありませんので、時間内にお越しいただき、

お茶を飲みながら育児相談や情報交換をして、ぜひ親子でリフレッシュしてください！

ご入園、ご進級おめでとうございます。柔らかな春の気配を感じつつ新年度がスタートしました。

お子さんだけでなく、保護者の皆さんも、入園・進級して「新しいクラスにはどんなお友達がいるのかな?」「担任の先生はどんな先生かな?」など、新しい環境や生活のリズムの変化に、もしかしたら戸惑われているかもしれません。お子さんと一緒に、期待と不安が入り混じった気持ちで、毎日を過ごしておられることかと思えます。幼稚園から帰ってきたお子さんに、ご家庭で「今日幼稚園楽しかった?」「幼稚園で何したの?」「友達はできそう?」「先生はやさしかった?」など心配や不安な気持ちから、色々と質問したくなってしまうと思います。

親御さんから色々と質問をしてしまうことにより、もしかしたら「答えなくてはならない」というプレッシャーを感じるお子さんもいるでしょう。不安な気持ちを、そのまま質問にして聞くのではなく、お子さんの表情や態度から『普段の様子との変化を感じる中で、感想の言葉を聴く』という構えをとることが大切なことのように思います。

お子さんが不安な気持ちや悔しい気持ち、悲しい気持ちを打ち明けて来られた時は、まずは「つらかったね」「悔しかったね」「悲しかったね」と共感して寄り添い、いったん感情を受け止めてあげてください。「あなたには、こんないいところがあるのよ!そんなこと気にしないで大丈夫!」と、このような声かけは一見、元気づけているように思われますが、お子さんにとっては感情的に見捨てられた体験となります。自分の感じていることを、ありのまま認めてもらう体験は、自分の本音を感じて、本当はどうしていきたいのかと考える力の土台となる大切な経験になります。お子さんの話を聴く中で、どのような感情もまずは一旦受け止めたくて「大丈夫」という言葉をかけることがベストだと思った時は、なぜ大丈夫なのか、その言葉をかけるに至った考えや、今までの努力や成功体験をお子さんに伝えるよう、具体的に理解できる言葉で伝えてあげるのが良いのではないのでしょうか。

今年度も、月に1回保護者の皆さまと個別相談や、園児さんとあそびを通じて関わらせていただきます。大きな悩みでなくても、ちょっとしたことで話せる子育て相談のように思ってもらえたら良いかと思えます。安心して気軽にご相談ください。お待ちしております。

キンダーカウンセラーとして、毎月1回、蛭池文化幼稚園を訪問しております臨床心理士の園村和代と申します。普段は民間の相談機関で就学前のお子さんと保護者の方の子育て支援をしながら、兵庫県や大阪府の幼稚園でキンダーカウンセラーをしております。保護者のみなさまが、お子さんとどう関わったらいいのかな?など子育ての悩みや、お友だち同士の関わりや園生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用は園負担ですので無料です。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。来園が難しい方には、出向いて相談を受けることも可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな～」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。